

夢パーク10周年祝う

川崎親子連れらでにぎわう

川崎市子ども夢パーク(高津区下作延)で、設立10周年の記念フェスタが開かれ、



親子連れら約3,200人でにぎわった。

夢パークは2003年、工場跡地に誕生した子どもの遊び場・活動拠点で、火や工具を

使える冒険遊び場(フ

リーパーク)などがある。NPO法人フリースペースたまりばが指定管理者として運営し、昨年は8万5000人が利用、全国から視察が相次いでいる。併設の「フリースペースえん」も10周年で、学校に居場所の見つからない子どもたち約100人が登録し通っている。式典で福田紀彦市長が「子どもの笑顔がふれる街・川崎をつくりたい」とあいさつ。

同法人理事長の西野博之さんが映像で歩みを振り返った。午後は「えん」メンバーによるフォルクローレ演奏やライブに人の輪ができ、フリースペースでは木の遊具や水遊びで泥んこになった親子たちが歓声を上げていた。写真。

西野さんは「子ども

と親の笑顔が一緒に見られる場所はすてきだ。これからも子どもたちが思いきりいろいろなことに挑戦できるように頑張りたい」と話した。【磯崎由美】